

# ラン藻ゲノム研究交流会

趣旨：バイオインフォマティクスとの融合をはかり、ラン藻ゲノム生物学の展開を目指す。

主催：大森正之、池内昌彦

発表：15分以内、質疑応答の時間5分

日時：平成22年7月24日（土）12:30～19:00

場所：東京大学・駒場キャンパス16号館119-129号室

会費：500円（ブレイク、懇親会費用）

12:30 はじめに

[データベース・バイオインフォマティクス・ゲノム情報]

12:40-12:53 岡本忍

ゲノムアノテーション協働作業を支援する手法と技術

12:53-13:06 山本泰智

自然言語処理技術を用いたオルソログクラスターへの自動アノテーション

13:06-13:20 藤澤貴智

CyanoBaseのゲノムリアノテーション

13:20-13:40 川島秀一 セマンティックウェブのラン藻ゲノム解析への応用

13:40-14:00 佐藤直樹

新型シーケンサによるゲノム配列のアノテーションにおける自動クラスタリングの活用

14:00-14:20 梅山秀明、小松克一郎、高谷大輔、加納和彦、寺師玄記、竹田志鷹真由子

複合体タンパク質モデリングと生物情報学的リガンドドッキングの融合システムの製作戦略

14:20-14:40 ブレイク

[次世代シーケンサー、メタボローム、モデル生物]

14:40-15:00 兼崎 友

次世代シーケンサーによる *Synechocystis* sp. PCC 6803 亜系株のリシーケンス解析

15:00-15:20 平井優美 メタボローム解析の現状と展望

15:20-15:40 福澤秀哉、久保雄昭、柳瀬麻理、大和勝幸、鈴木穰、菅野純夫、伊藤武彦、谷口丈晃、黒木陽子、豊田敦、小原雄治、藤山秋佐夫

緑藻クラミドモナスに関するゲノムデータベースの構築と次世代シーケンサーデータの利用

15:40-16:00 土屋 徹、三室 守

クロロフィル *d* を主要なクロロフィルとする *Acaryochloris marina* MBIC 11017 における形質転換系の開発

16:00-16:20 田中 寛 シゾンの形質転換

16:20-16:40 ブレイク

[機能解析]

16:40-17:00 渡辺智 シアノバクテリアの複製開始に関する研究

17:00-17:20 藤田祐一 複数の酵素系を活用した酸素環境に対する適応戦略

17:20-17:40 日原由香子 転写因子 CyAbrB と細胞内 C/N バランス制御

17:40-18:00 得平茂樹 窒素応答性レスポンスレギュレーター NrrA の新規標的遺伝子の探索

18:00-18:20 仲本 準 ラン藻 Hsp90 の機能

18:20-19:00 懇親会+総合討論